

113 學年度高教深耕校內日語朗讀比賽朗讀稿

【高校生活】

こうこう わたし まいあさ じ ぶん いえ で
高校のとき、私は毎朝7時20分に家を出ることにしていま
した。けれども、ちこく 遅刻しそうになってはし 走ったこともありました。
かえ ともだち よ みち け きや ほんや
帰りは、友達をたまに寄り道をして、ケーキ屋さんや本屋さん
へ行きます。こうそく きんし
校則では禁止されていたので、なんと 緊張感
があつて、ドキドキしたことをいま なつ おも だ
今でも懐かしく思い出します。
わたし ねんかん がっしょうぶ れんしゅう
私は3年間ずっと合唱部でした。練習はつらくもあり、
たの ねん ど はっぴょうかい まえ れんしゅう
また楽しくもあります。1年に1度の発表会の前は、練習
かえ おそ くら みち ともだち えき
で帰りが遅くなることがよくあります。暗い道を、友達と駅
む とちゅう なや そうだん ねんご じぶん
へ向かう途中、悩みを相談しあったり、10年後の自分たちにつ
いて、はなし 話したりしたものです。いま おも
今から思えば、このおしゃべり
まいにち せいかつ たの わたし
が、毎日の生活の楽しみだったのかもしれませんが。私が
こうこうせいかつ え いちばんおお ゆうじょう おも
高校生活で得た一番大きなものは、友情だと思ひます

113 學年度高教深耕校內日語朗讀比賽朗讀稿

【なぜ日本語を勉強するか】

わたし はじ にほん きょうみ も こうこうにねん
私 は始めて日本に興味を持ったのは、高校二年のときでし
た。教科書に出ている日本の工場の写真を見て、
日本経済に関心を持ち始めました。また、日本には歌舞伎や
相撲など伝統的なものがあることもテレビで知りました。発達
した経済と、古くからの伝統が、同時に存在している日本と
いう国はどんな国なのか知りたくて、日本語を勉強すること
にしました。

いちねんまえ わたし くに はな にほん き
それで、一年前、私は国を離れて、日本に来ました。
さいしょ ごがく べんきょう たいへん とちゅう くに かえ
最初の語学の勉強は大変で、途中でやめて国へ帰ろうと
おも におも だいがくいん けいざいがく
思ったこともありましたが、日本の大学院で経済学の
けんきゅう いっしょうけんめい つづ
研究をするために、一生懸命を続けてきました。
いま にほん せいかつ な にほんじん じゆう こうりゅう
今はもうすっかり日本の生活に慣れ、日本人と自由に交流
することもできるようになりました。しょうらい くに かえ
将来は国へ帰って、
にほん かいしゃ はたら きかい
日本の会社で働くつもりです。そして機会があったら、また
にほん き おも
日本に来たいと思っています。

113 學年度高教深耕校內日語朗讀比賽朗讀稿

【私の夏休み】

しちがつはつか なつやす はじ つぎ ひ ちい かたて
7 月 20 日、夏 休 み が 始 ま っ た の 次 の 日、小 さ な か ば ん 片 手
ひこうき と の ことし かんこく きらく ひとりたび
に 飛 行 機 に 飛 び 乗 り ま し た。今 年 は 韓 国 へ 気 楽 な 一 人 旅。2
じかん
時 間 ぐ ら い で ソ ウ ル に 着 き ま し た。空 港 で は 大 勢 の 人 々 に ま
じって 李 さん が 大 き く 手 を 振 っ て 迎 え て く れ ま し た。半 年 ぶ り
あ り げんき まち ようす おどろ
に 会 う 李 さん は と て も 元 気 そ う で し た。町 の 様 子 は 驚 く ほ ど
にはん に
日 本 に 似 て い ま す。
はくぶつかん こうがい みんぞくむら くに れきし ふうぞくしゅうかん
博 物 館 や 郊 外 に あ る 民 族 村 は そ の 国 の 歴 史 や 風 俗 習 慣
が わ か っ て いんしょう のこ ひとり ばす の ことば
が わ か っ て 印 象 に 残 り ま し た。一 人 で バ ス に 乗 っ た と き に 言 葉
が わ か ら な く て こま ひとびと みな しんせつ
に 困 り ま し た が、人 々 が 皆 と て も 親 切 に し て く
れ ま し た。はな ことば ちょうし やわ き
話 す 言 葉 の 調 子 は 柔 ら か く て、や さ し く 聞 こ え ま し
た。わたし す くに ひと ふ
私 の 好 き な 国 が ま た 一 つ 増 え ま し た。

113 學年度高教深耕校內日語朗讀比賽朗讀稿

りょこうちゅう　ねむ　ひと　おお　げんいん　かんきょう
旅行中、よく眠れないという人は多い。その原因は環境
へんか　なか　な　まくら　いちばん　げんいん　い
の変化だ。中でも慣れない枕が一番の原因だと言われている。
さき　つか　まくら　も　い
る。だから、先にいつも使っている枕を持って行くという
ひと　まくら　おお　じゃま　かんが
人もいる。しかし、枕は大きいので、邪魔になると考える
ひと
人もいるだろう。それなら、いつも寝るときに着ている服を持
っていくのはどうだろうか。こども　き　い
子供なら、気に入っているぬいぐ
るみを持たせるのも効果がある。じたく　ちか　かんきょう
自宅に近い環境にすること
す　と　れ　す　こうふん　おさ　ねむ
で、ストレスや興奮を抑え、いつものように眠ることができる
のだ。
すいみん　せんもんか　たびさき　ねむ　ひと　げんいん
睡眠の専門家によれば、旅先で眠れないもう一つの原因とし
て、くうき　かんそう
空気の乾燥があげられるそうだ。